

九州農業食料工学会誌・完全版下原稿作成要領

—サブタイトルの作成例— ←11pt, ゴシック

農機太郎¹・農産花子²・Agricultural MACHINERY³ ←12pt, 明朝体

1 正会員, 農機大学農学部, 〒123-4321, 北都市東区南町 6-10-1 } 9pt
2 東都農業試験場, 〒831-6512, 東都市西町 1-2 } 明朝体

3 Student member, Department of Agricultural engineering, Nanto University, Nanto, 1234, U.S.A.

要旨 ←10pt, ゴシック (太字)

このファイルは、九州農業食料工学会誌の完全版下原稿を作成するために必要なレイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述している。同時に、版下原稿そのものの体裁 (A4) をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとするものに置き換えれば、所定のフォント (この文章はMS明朝体8ptを使用。但し、指定しているフォントがない場合には、指定フォント相当のものを使用のこと) や配置の原稿を容易に作成することができるように配慮されている。

[キーワード] キーワードを「, 」で区切り5~10語, MS明朝体(8pt)で記載する。また、キーワードが次行にわたる場合には第一キーワードの頭に揃える。

I. タイトルページの様式

本章では、標題、著者名、キーワード等の記載方法について説明する。

1. 標題、著者情報および要旨

本節では、順次、具体的な事項を述べる。

(1) 標題 ←9pt, ゴシック, 左揃え

標題には主題(和文: MSゴシック, 12pt太字; 英文: Times New Roman, 12pt太字)のほか副題を記載することができる。副題(和文: MSゴシック, 11pt太字; 英文: Times New Roman, 11pt太字)がある場合には、その前後に全角のハイフンを挿入し、表題の次行から入力する。標題および副題はセンタリングして記載する。

(2) 著者名

著者名は、和文(MS明朝体, 12pt), 英文(Times New Roman, 12pt)ともに標題下にスペースを1行 (16pt) 空けてそれぞれ記載する。なお、著者が複数の場合には、和文では「・」, 英文では「,」を用いて区別する (但し、英文では最後の著者は「and」でつなぐ)。

(3) 著者情報

著者情報は、著者目の次行より、番号 (著者の記載順に連番を振る。単著の場合は不要) に続けて、会員の有無 (正会員, 学生会員である場合のみ記載する), 所属および住所の順に、和英両文とも「, 」で区切って記載する。フォントは、和文をMS明朝体(9pt), 英文をTimes New Roman(9pt)とする。著者情報に対応する著者名には、その右肩に1, 2, 3, ...の印を付す。

(4) 要旨

要旨は、和文をMS明朝体(8pt)で300字以内、英文をTimes New Roman(8pt)で300語以内で記載する。なお、行間は13ptとする。

2. キーワード

(1) スタイル

キーワードは、著者自身が5~10語選定し、日本語はMS明朝体(8pt)で、それに対応する英語はTimes New Roman(8pt)で記載する。英語はすべて小文字とするが、固有名詞については最初の文字のみ大文字とする。また、キーワードが次行にわたる場合には第一キーワードの頭に揃える。

(2) 選定に当たっての留意事項

- a. 原稿の内容が推測できるように選ぶ。
- b. 具体的な意味のある語 (狭義の語) を選ぶ。
- c. 原則として名詞単数形とする。
- d. 省略語, 複合語などは広く通用しているものに限る。

3. 英文の表題, 著者名, 要旨およびキーワードの挿入箇所

英文の表題, 著者名, 要旨およびキーワードは参考文献の後に挿入する。

II. 本文の作成様式

1. 見出しおよび箇条書き

(1) 見出しの種類とスタイル

見出し番号または記号は、次の順序で用いることを原

↑
上マージン 25mm
↓

則とする.

I. II. III. : MSゴシック体(10pt太字)

1. 2. 3. : MSゴシック体(9pt太字)

(1) (2) (3) : MSゴシック体(9pt)

a. b. c. : MS明朝体(9pt)

(a) (b) (c) : MS明朝体(9pt)

(i) (ii) (iii) : MS明朝体(9pt)

(2) 簡条書きのスタイル

← 左マージン 20mm → 摘要等の中で簡条書きするときの番号は「1), 2)」のようにし、行の左端を字下げせずに記載する。また、内容が複数行にわたる場合には、各行の開始位置を1行目の先頭文字の位置に揃える。

2. 文章

(1) スタイル

文章は、各段落ごとに1字下げで記載し、和文はMS明朝体(9pt)、英文はTimes New Roman(9pt)を使用する。行間は14ptとする。なお、いずれの頁も段組の両下端の高さを揃える。

(2) 区切り記号

文章の区切り記号は、読点を「、」、句点を「.」とする。

3. 数式及び記号

(1) 数式のスタイル

数式は、左端を18pt(約7mm)空け、記載例1に従って記載する。なお、フォントサイズは9ptとする。数式の上は14ptのスペース空ける。

(2) 数式記号

数式記号は、イタリック体(ベクトル、テンソルはイタリック・ボールド体; 記載例: \mathbf{v} , \mathbf{T})とし、また、単位や演算記号は、ローマン体(立体)とする。

(3) 数式番号

数式番号は、「(1), (2), …」のように行の右端に揃えて記載する。なお、フォントは、Times New Roman(9pt)とする。

(4) 数式の引用

数式を文章中に引用する場合には、記載例2および3に従って、文章中に引用する。

[記載例1(数式の記載)]

切削部に作用する力 W_2 は、次式により求められる。

約7mm
→ 18pt ←
$$W_2 = \frac{(C-D)}{3\sin\beta} \left(\sum_{k=1}^n S_k + \log m \right)$$

14pt, 約5mm

ここに、 C は試料の質量(kg)、 β は作用角(rad)、 D は…

[記載例2(単一の数式を引用)]

式(1)を式(2)に代入して…

[記載例3(複数の数式を引用)]

式(1), (3)および(4)を式(6)に代入して…

式(1)–(3)および(5)を式(7)に代入して…

4. 単位

(1) 単位系の指定

単位は、国際単位系(SI)(SI単位と併用してよい単位を含む)とし、必要に応じて従来単位とする。

(2) 単位に関する留意事項

特に間違い易い例:

a. SI単位

s(秒, secと記さない)

W(仕事率, 動力等, PSはSI単位ではない)

b. SI単位と併用してよい単位

h(時間, hrと記さない)

°(度, degと記さない. 例: $\pi/6$ (rad) [30°])

lまたはL(エル: 数字の1と混同する恐れのある場合は, Lまたはl(イタリック体)を用いる.)

5. 図、表、写真

本節では、図、表および写真(以下、「図表等」と略す)に関する留意事項を述べる。

(1) 図表等の説明と本文への挿入方法

図表等中で使用する説明文は、日本語・英語のいずれかで記載する。フォントは、日本語(MS明朝体, 9pt)、英語(Times New Roman, 9pt)で記載する。また、図表等は、著者自らが頁の上下部に挿入する。

(2) 図表等タイトル

図表等には、和文タイトル(MS明朝体, 9pt)と英文タイトル(Times New Roman, 9pt)を付ける。図表等の番号は、図では「図1, Fig. 1, 図2, Fig. 2」のように、表では「表1, Table 1, 表2, Table 2」のようにし、写真では「図1, Fig. 1」のほかに「写真1, Photo 1」を用いても構わない。タイトルは、いずれもセンタリングする。

(3) 図表等の引用

文章中で図表等を引用するさいは、図表等タイトルの説明文を除く記号および番号を引用する。(例: 図1に実験装置の構成を示している。)

[記載例1]

(1) ←9pt, Times New Roman
右揃え



9pt, Times New Roman
センタリング

図1 制御装置の概要

Fig. 1 Schematic diagram of automatic control equipment

右マージン 20mm

↑
下マージン 25mm
↓

[記載例2]

9pt, 明朝体

表1 測定項目 ←センタリング

9pt, Times New Roman → Table 1 Measurement items
センタリング

表

6. 頁数

原稿は図・表を含めて6ページ以内とする。

7. 参考文献

本節では、参考文献の記載方法ならびに引用方法を述べる。

(1) スタイル

参考文献は、以下のスタイルに従ってアルファベット順（但し、同じ著者で同年の複数の文献がある場合には発行年の後にa, b,と記号を付す）に記載する。雑誌の場合には、著者名（複数の場合は「,」で区切る。欧文雑誌については最後の著者を「and」でつなぐ）、発行年（西暦）、標題、雑誌名（イタリック体）、巻号（巻は太字とし、巻のページを年間通し番号としている雑誌の場合は、号の記載は不要）、ページの順に記載する。詳しくは、記載例1および2を参照すること。なお、英文誌名の省略は原則として慣習に従うものとする。単行本の場合には、著者名（複数の場合は「,」で区切る。欧文単行本については最後の著者を「and」でつなぐ）、発行年（西暦）、書名と版数、発行所、（外国文献の場合は発行地）、引用ページの順に記載する。分担執筆の単行本では、分担執筆者名、発行年（西暦）、分担標題、書名と版数（編者又は監修者名）発行所、（外国文献の場合は発行地）、引用ページの順に記載する。詳しくは、記載例（謝辞、付録、参考文献）を参照すること。なお、フォントは、和文文献(MS明朝体, 8pt), 欧文文献(Times New Roman, 8pt)とする。行間は12ptとする。

(2) 参考文献の引用

文章中で文献を引用するさいには、著者名（姓のみ）、発行年（西暦）の順に、記載例1, 2および3に従って記載する。

[記載例1 (著者が二人以下の場合)]

和文論文では農機 (2001), 農機, 農産 (2001), 欧文論文ではNouki (2000), Nouki and Nousan (2000)と記載す

る。

[記載例2 (著者が三人以上の場合)]

和文論文では、農機他 (2001), 欧文論文では、Nouki et al. (2000)と記載する。

[記載例3 (括弧内で引用する場合)]

和文論文では、(農機, 2001), (農機, 農産, 2001), 複数の場合は(農機, 2000; 農機, 農産, 2001; 農機他, 2001), 欧文論文では、(Nouki, 2001), (Nouki and Nousan, 2001), 複数の場合は(Nouki, 2000; Nouki and Nousan, 2001; Nouki et al., 2001)と記載する。

8. 謝辞, 付録

謝辞, 付録がある場合には、参考文献の前に記載する。詳しくは、記載例（謝辞, 付録, 参考文献）を参照すること。

9pt [記載例 (謝辞, 付録, 参考文献)]
ゴシック (太字)

14pt, 約5mm

9pt, 明朝体
行間 14pt

↳ 謝辞: 謝辞は、本文末からスペース (14pr, 約5mm) を空けて、字下げをせずに見出し (9pt, ゴシック体, 太字), 文章の順に記載する。文書は明朝体 (9pt) で記載する。

14pt, 約5mm

9pt, ゴシック (太字) → 付録

9pt, 明朝体
行間 14pt

付録は、謝辞の後にスペース (14pr, 約5mm) を空けて記載する。

14pt, 約5mm

9pt, ゴシック (太字) → 参考文献

8pt, 明朝体
行間 12pt

安部太郎, 稲穂次郎 (2000): 農用トラクタの自動制御 (第1報), 農業機械学会誌, 62(1), 14-21. (和文雑誌の場合)

Kyushu, A., Nousan, B. and Inaho, J. (1992 a): Automatic control of agricultural tractor (part 1), *Trans. ASAE*, 50(1), 55-59. (欧文雑誌の場合)

Kyushu, A., Nousan, B. and Inaho, J. (1992 b): Automatic control of agricultural tractor (part 2), *Trans. ASAE*, 50(3), 30-37.

農機太郎 (2001): 農用トラクタの自動制御 (改訂版), 農機堂, 100-110. (和文単行本の場合)

Nousan, T. (2001): Automatic control of farm tractor (second edition), Nouki Co., New York, 100-110. (欧文単行本の場合)

生産太郎 (2001): 走行速度の自動制御, 農用トラクタの自動制御 (改訂版) (九州次郎編), 農機堂, 100-110. (分担執筆の単行本の場合)

12pt
約6mm

(20??, 8. ??受稿, 20??, ?. ??閲読了)

24pt, 約9mm

PRINT SAMPLE OF MANUSCRIPT ←12pt, Times New Roman (太)
FOR JOURNAL OF KYUSHU JSAM

10pt, 約4mm

12pt, Times Roman → - Example of Subtitle -

16pt, 約6mm

12pt
Times New Roman
↓

Taro NOUKI¹, Hanako NOUSAN² and Agricultural MACHINERY³

1 Member, Faculty of Agriculture, Nouki University, Hokuto, 123-4321, Japan

2 Touto Agricultural Experiment Stations, Touto, 831-6512, Japan

3 Student member, Department of Agricultural engineering, Nanto University, Nanto, 1234, U.S.A.

} 9pt
Times New Roman

16pt, 約6mm

Abstract ←10pt, Times New Roman (太字)

The present file has been made as a print sample of the camera-ready manuscripts for Journal of JSAM. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones you can easily make your own manuscripts.

Font used here is Times New Roman 9pt.

↑
9pt, Times New Roman, 行間 13pt

[Keywords] *Times New Roman, italic, 9pt, 5-10 words, no blank line below Abstract, indent if key words exceed one line*

↑
9pt, Times New Roman, Italic, 行間 13pt